

第2章 ウィンドウを操作してみよう

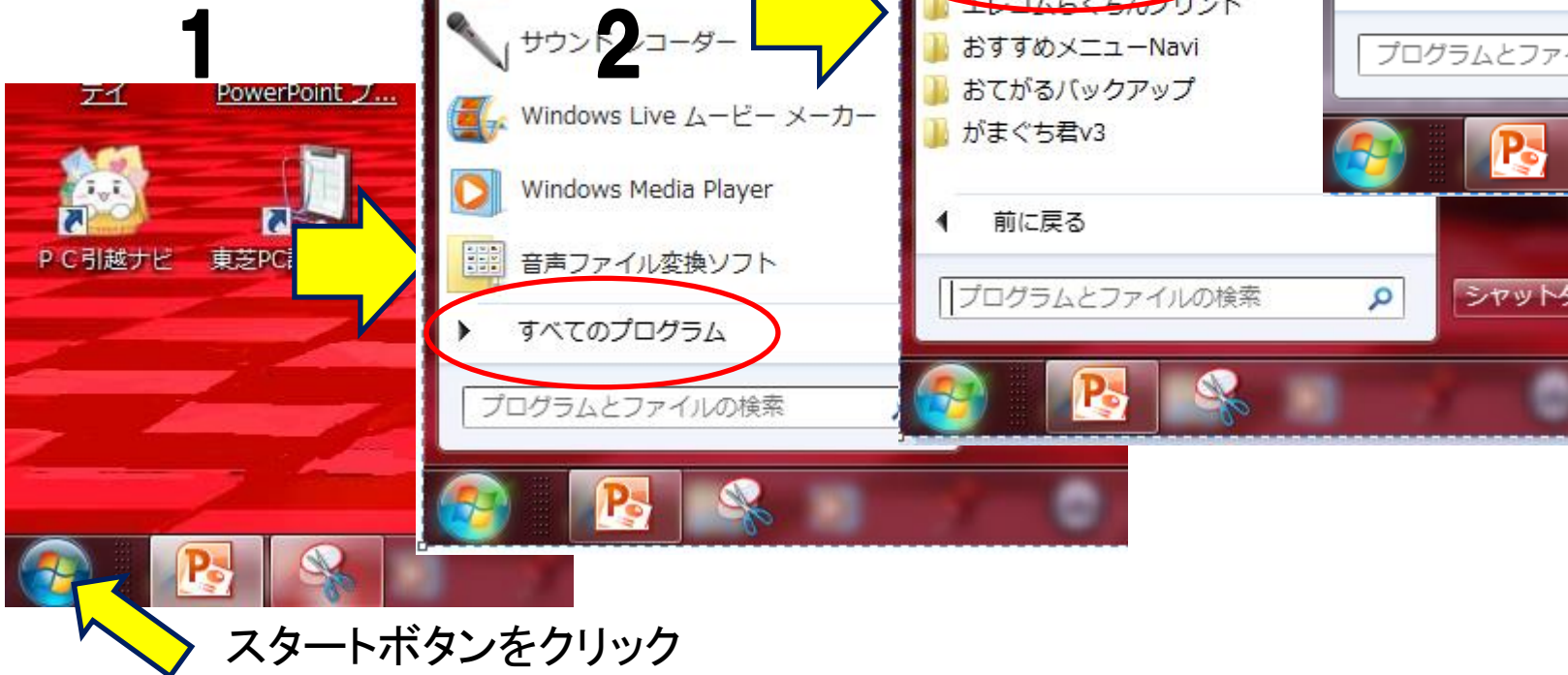
Step1 アプリケーションソフトを起動する

Step2 ウィンドウを操作する

Step3 アプリケーションソフトを終了する

アプリケーションソフトを 起動する

1. (スタート)をクリックします。
2. ≪すべてのプログラムをポイントする
3. ≪アクセサリ≫をクリックします
4. ≪ペイント≫をクリックします。
ペイントを起動します

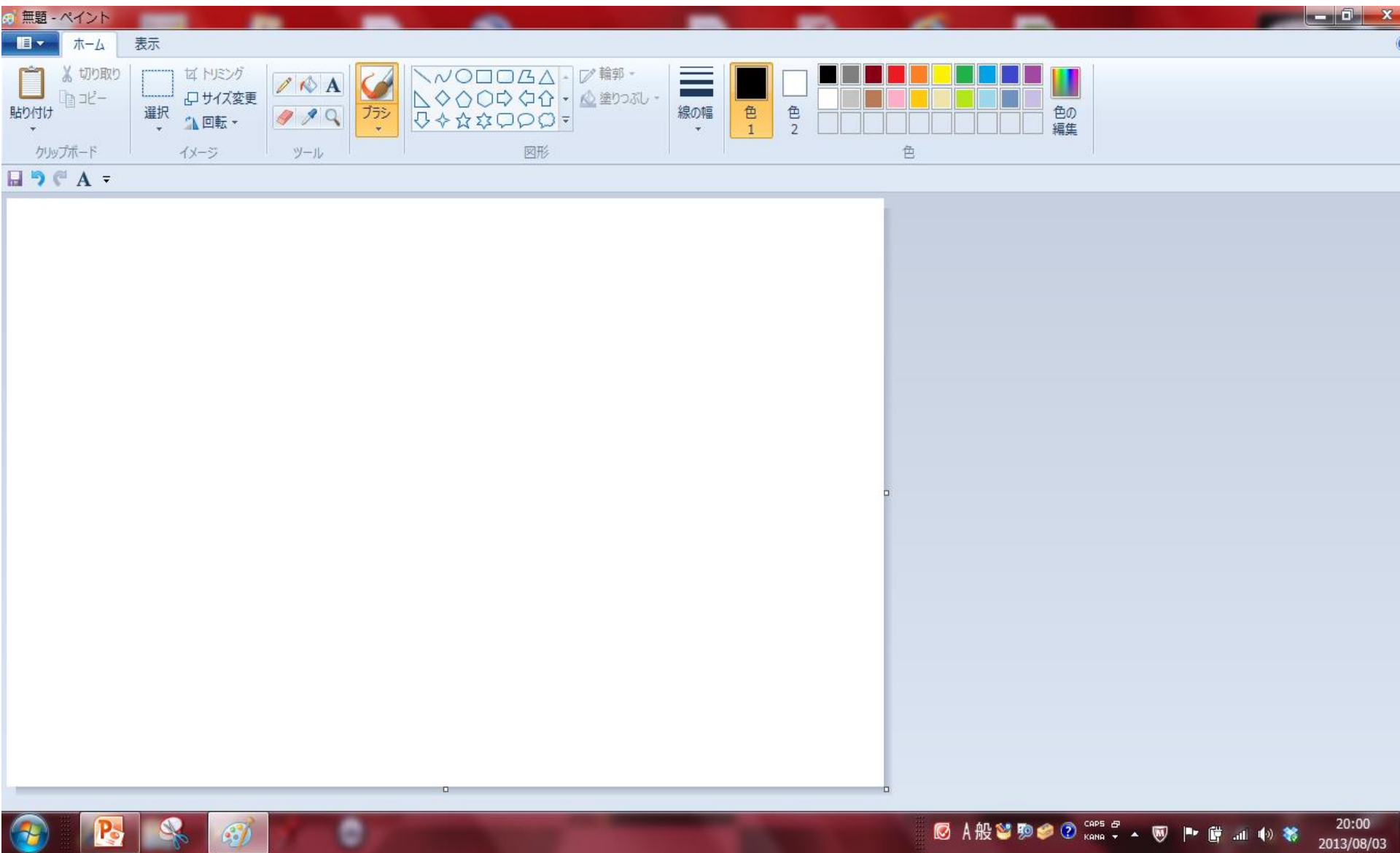


4



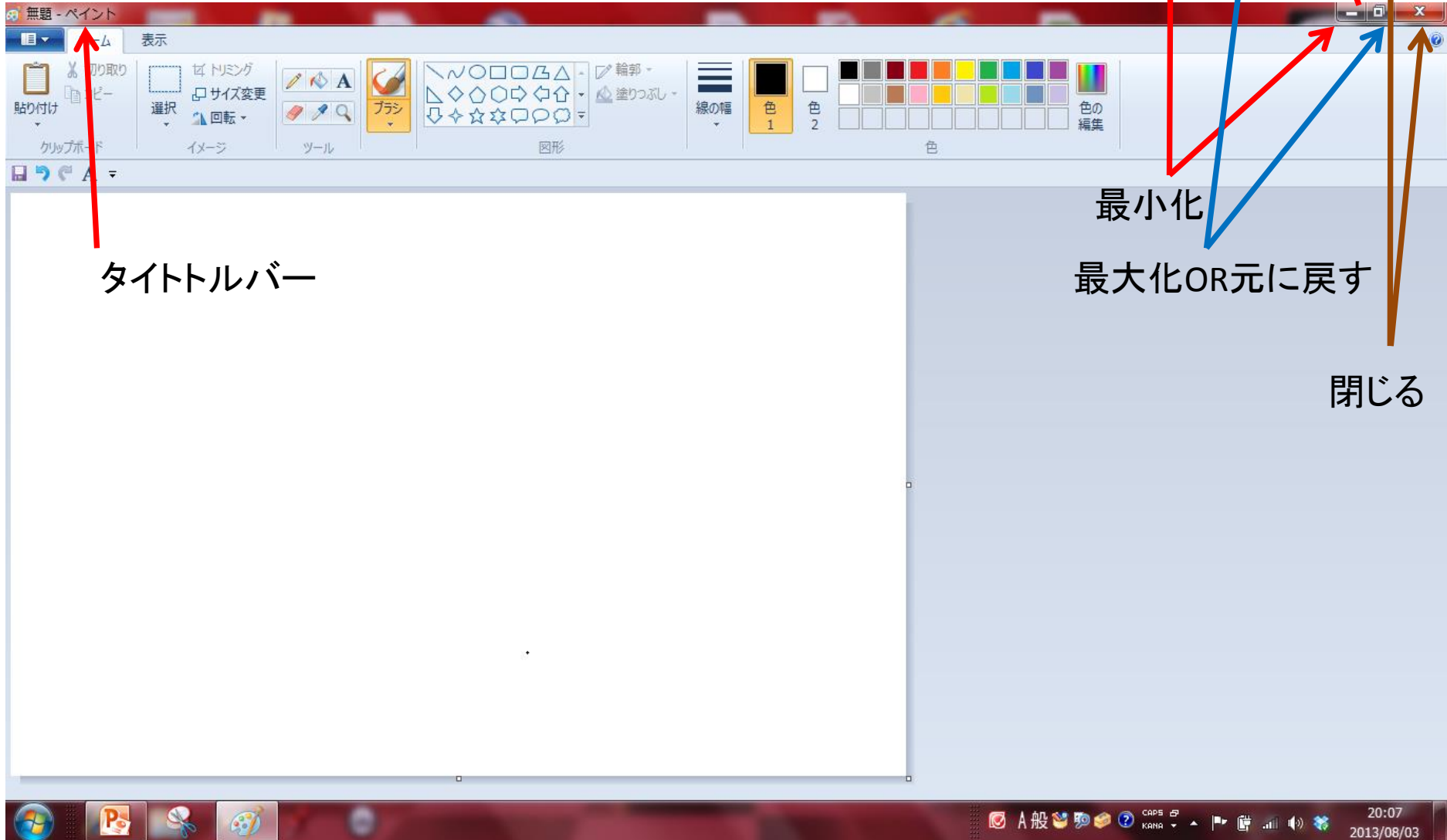
スタートボタンをクリック

ペイントが起動されました。



ウィンドウを操作する

- ウィンドウの各部の名称と役割



タイトルバー

最小化

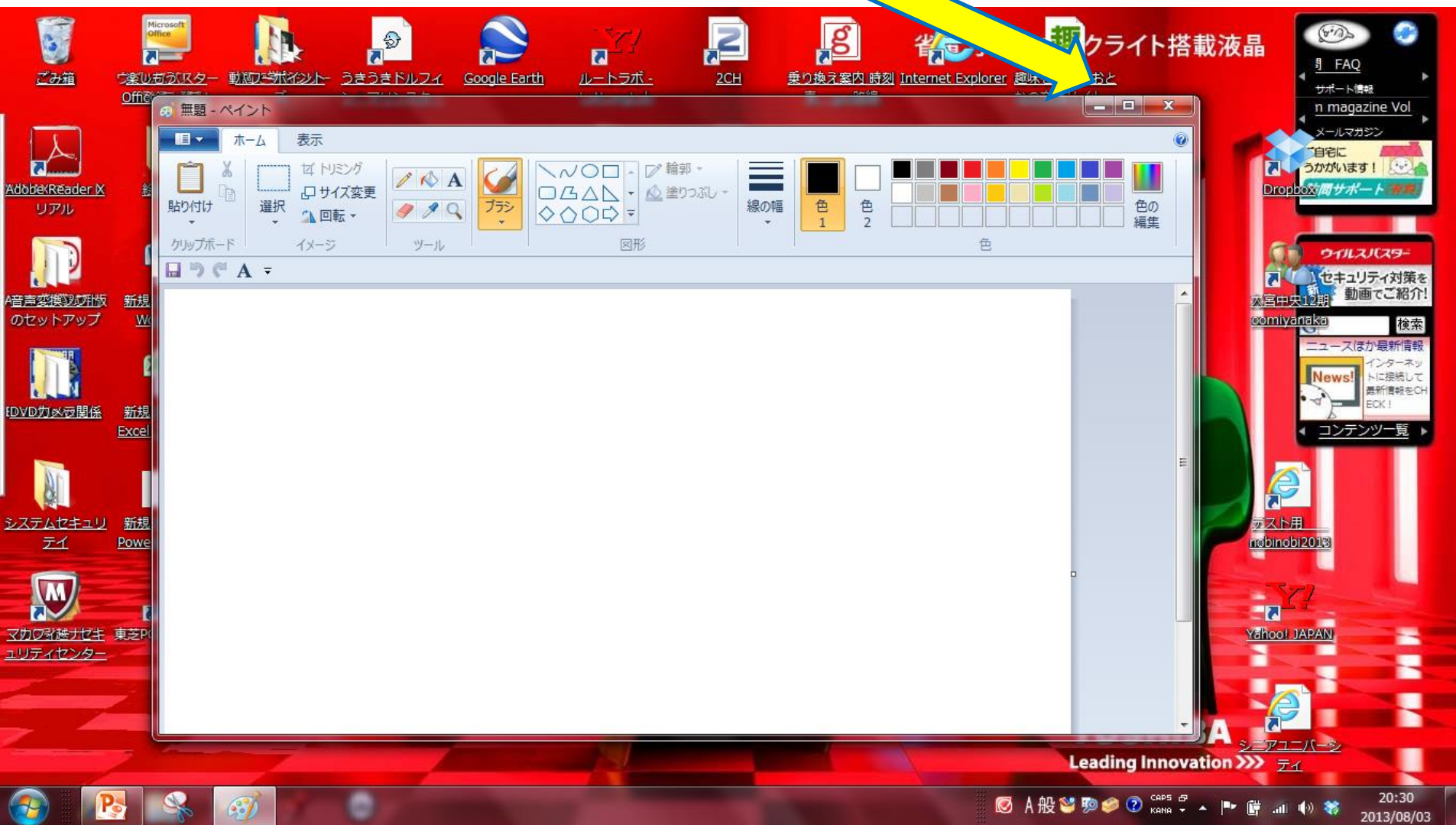
最大化OR元に戻す

閉じる

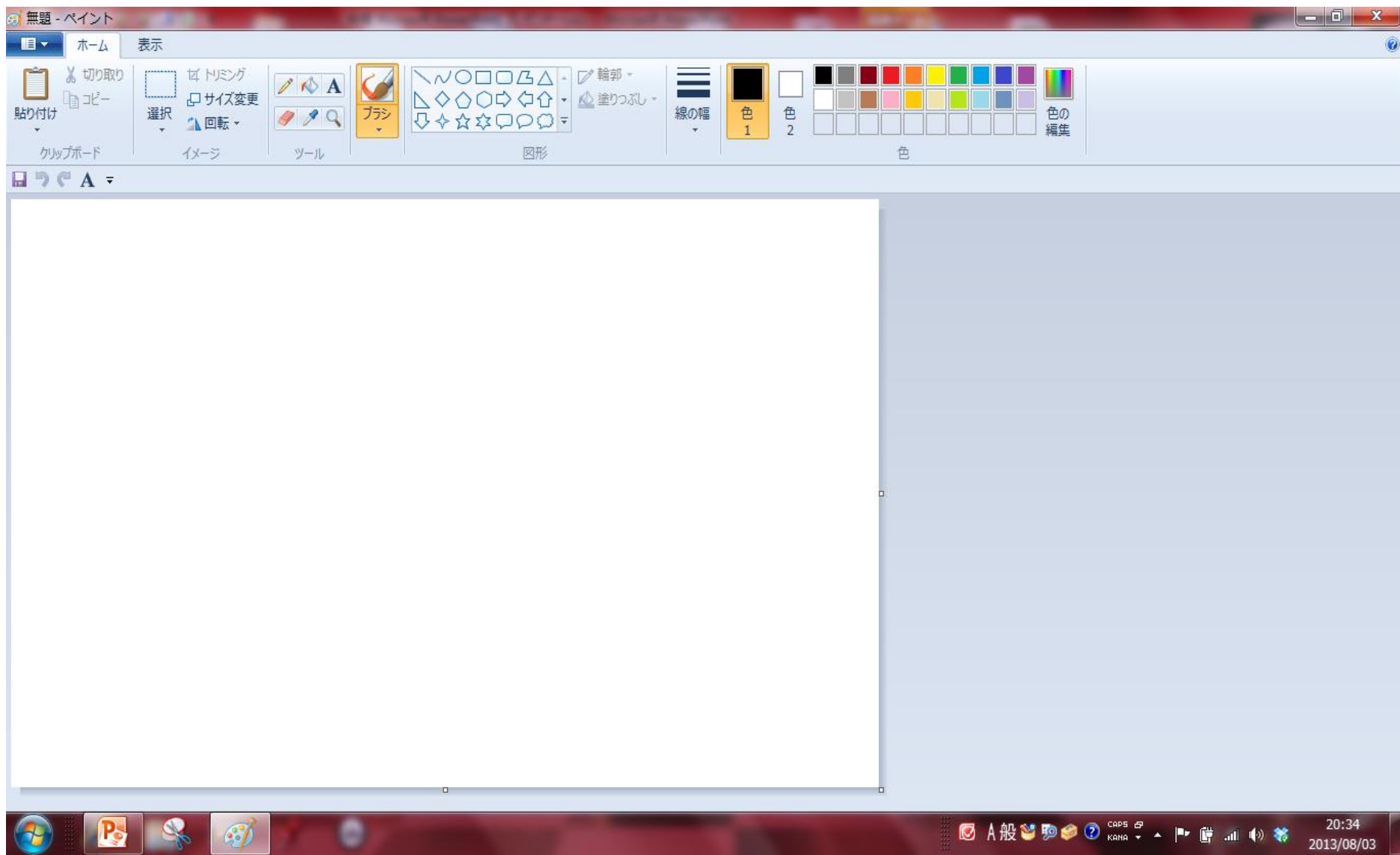
拡大

ウィンドウのサイズを変更しよう

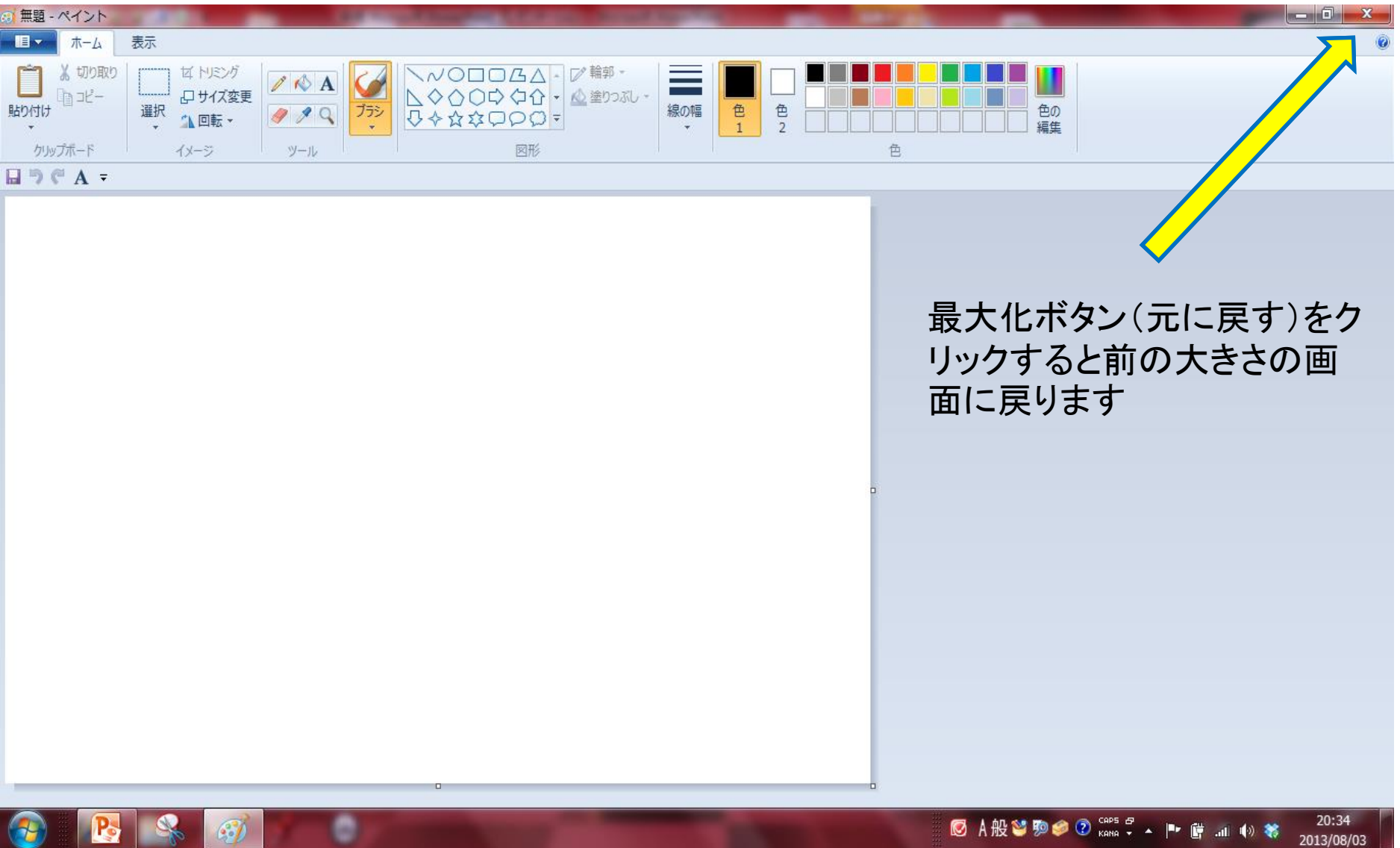
最大化をクリックします



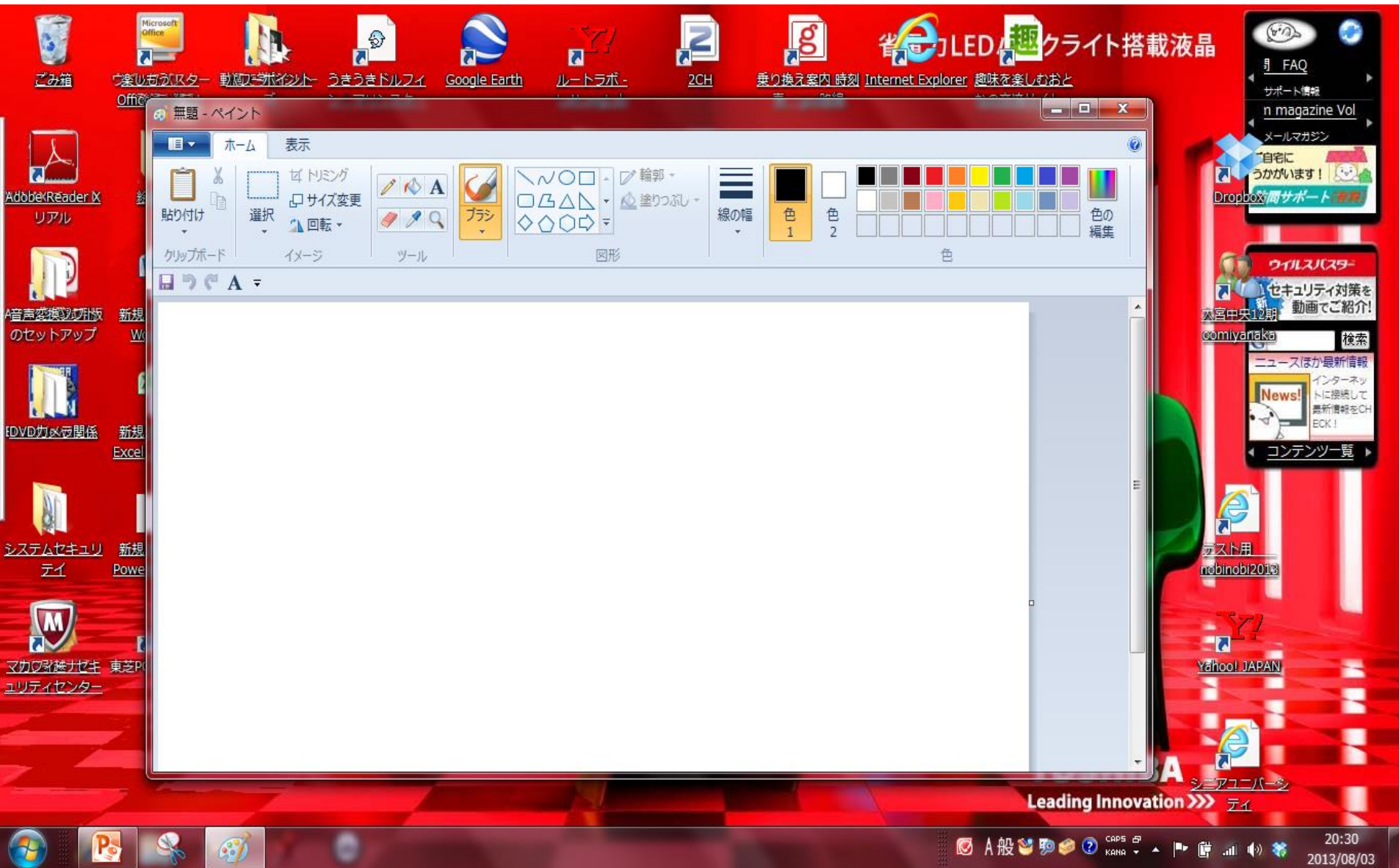
ウィンドウが画面全体になりました。



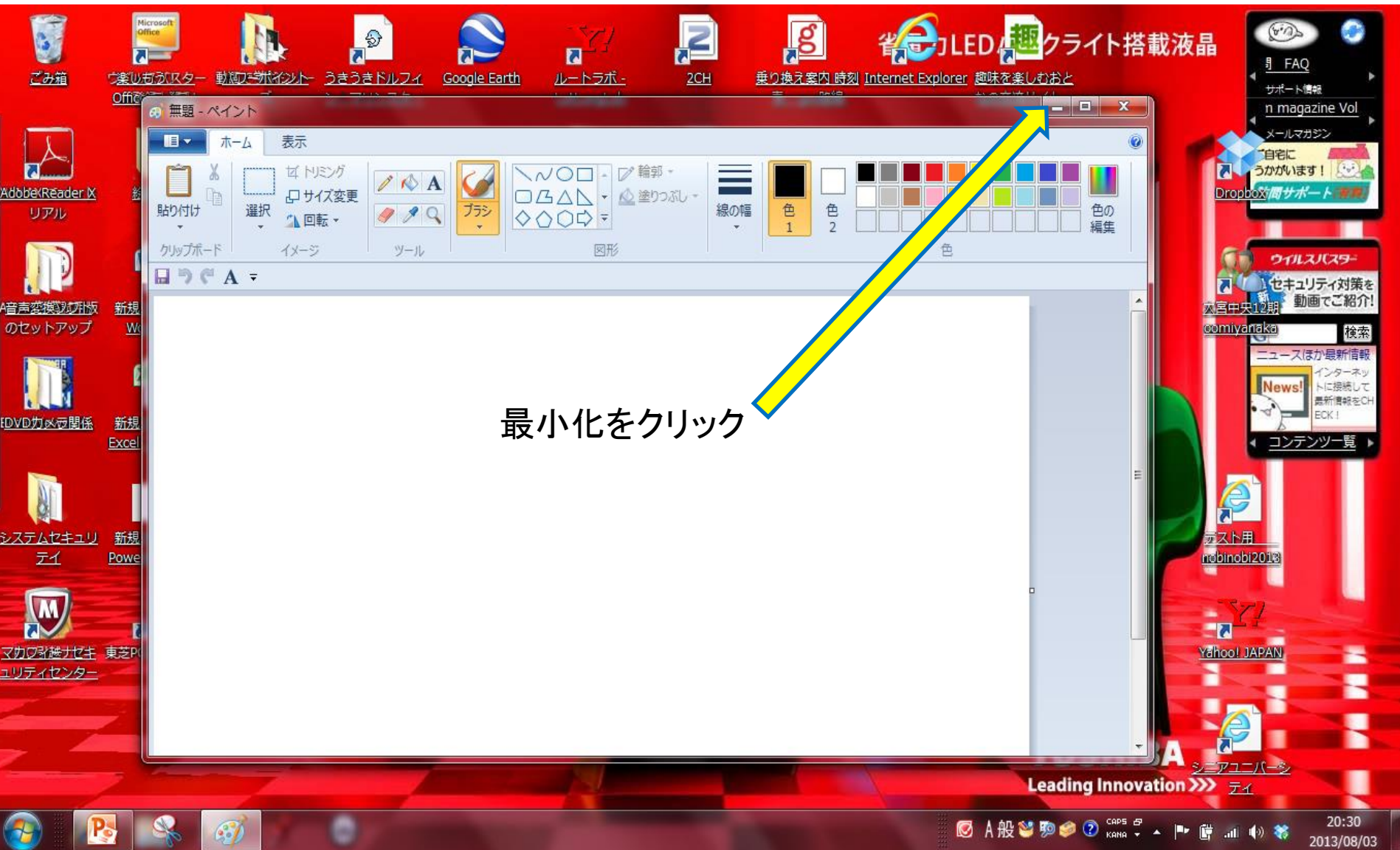
ウィンドウを復元しよう



ウィンドウが元の大きさになりました



ウィンドウを最小化しよう



タスクバーにボタンで表示



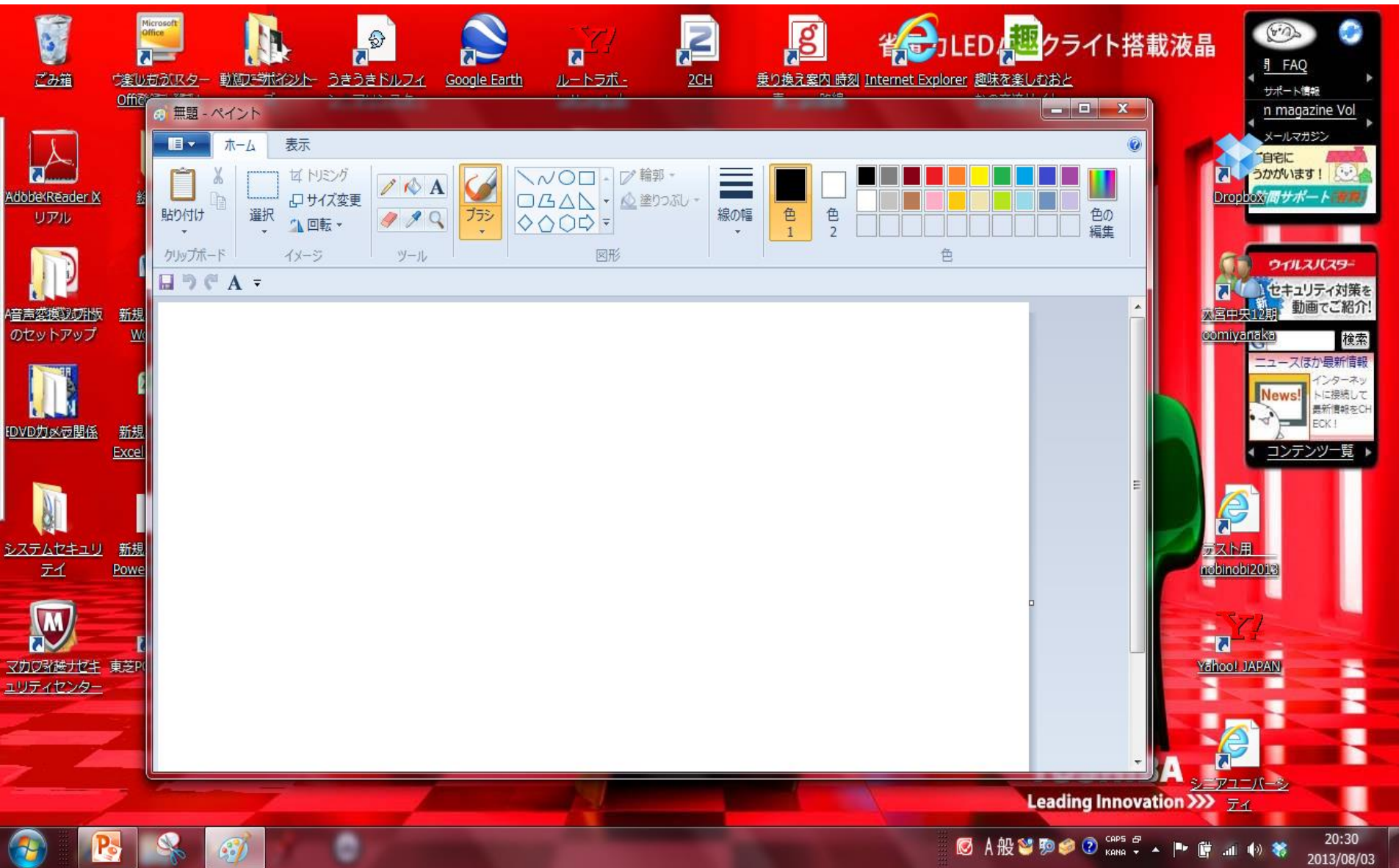
ウィンドウが最小化してもアプリケーションソフトは起動しています。

ボタンから復元しよう



ペイントのボタンをクリックします

ウィンドウが元の大きさになりました



ウィンドウを自由なサイズに変更しよう

無題 - ペイント

ホーム 表示

貼り付け 選択 回転 色 線の幅

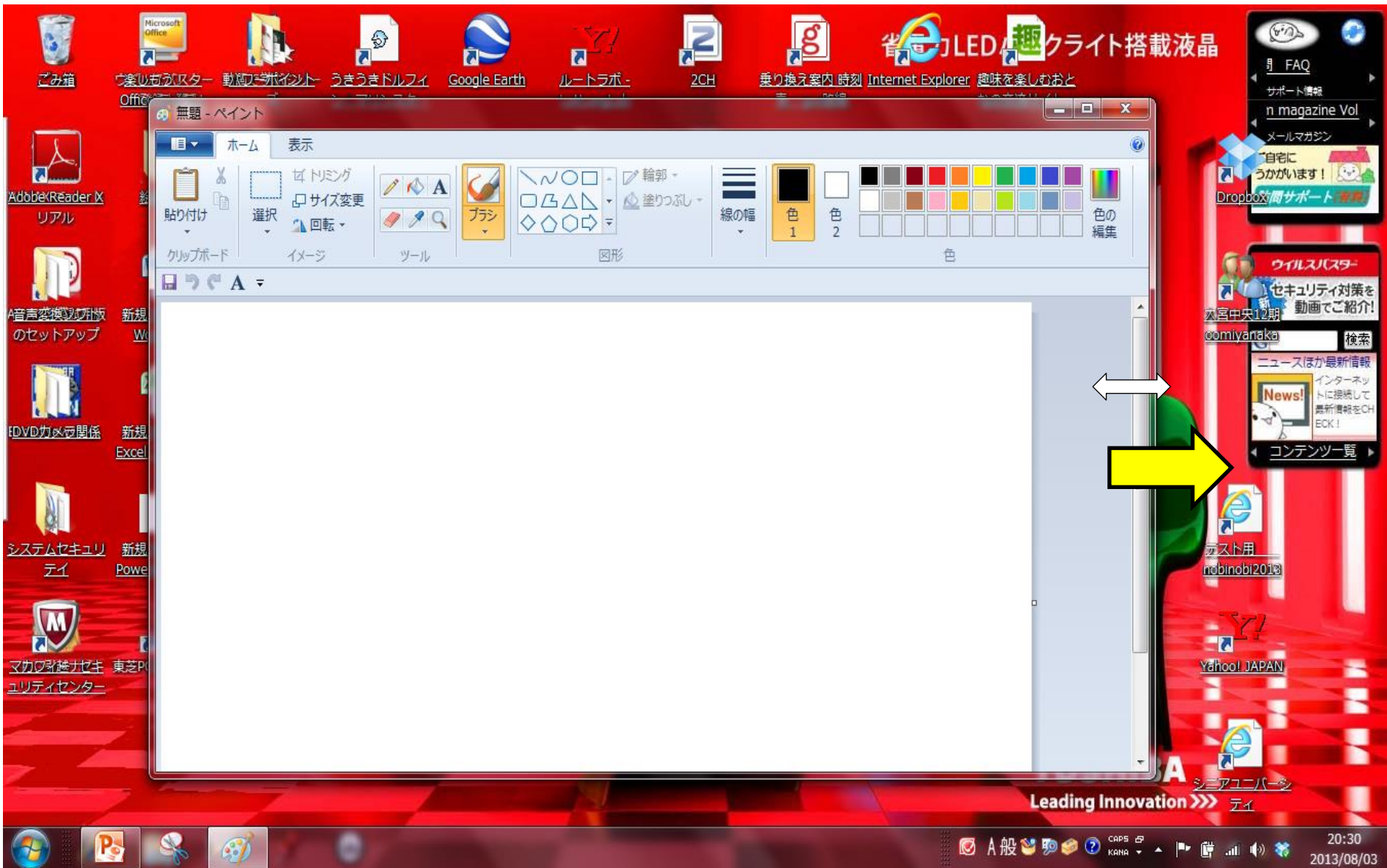
無題 - ペイント

ウインドウのサイズを大きくします。
ウインドウの右側の境界線をポイントします。
マウスポインターの形が \leftrightarrow に変わります。

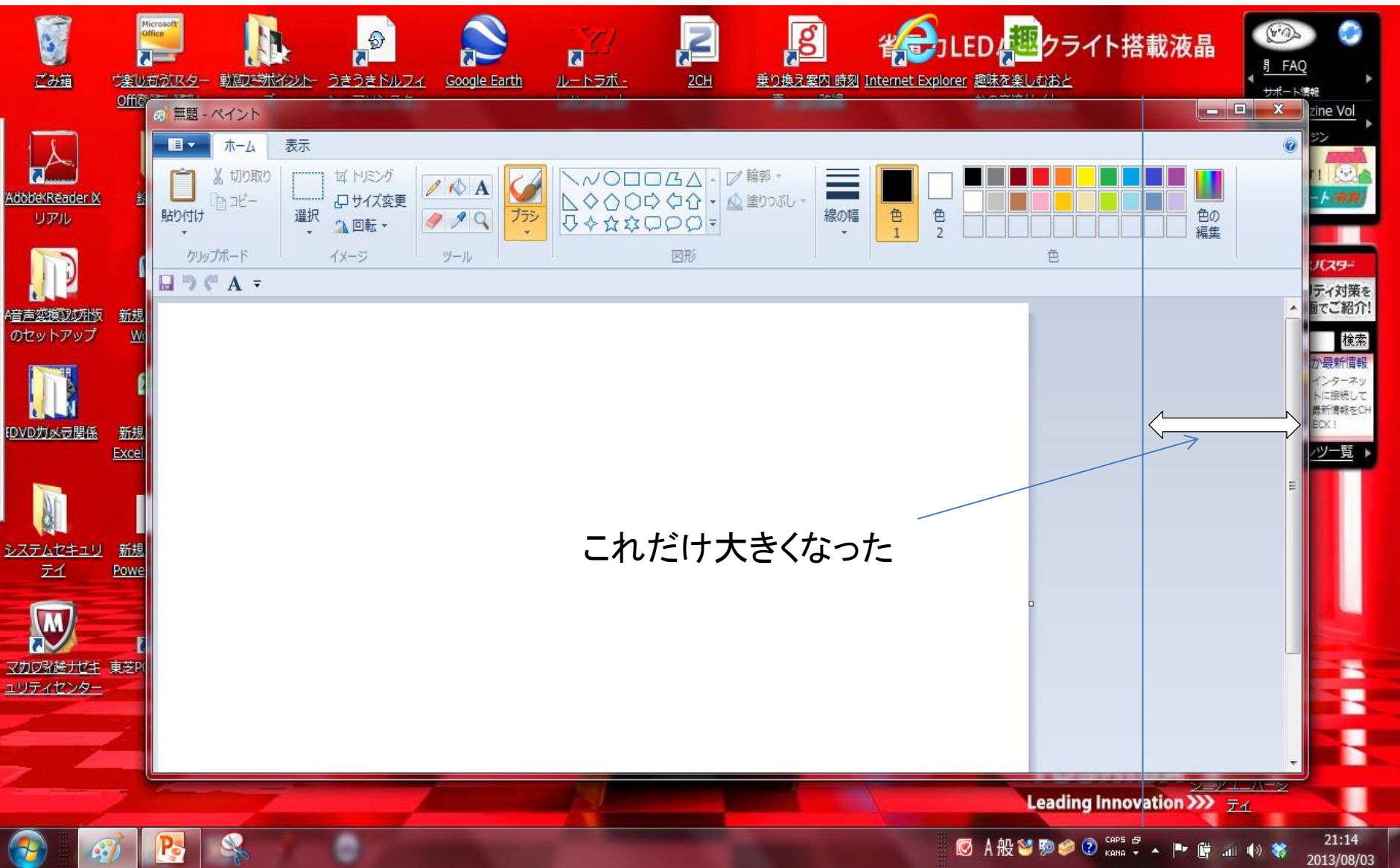
Leading Innovation >>> ティ

20:30
2013/08/03

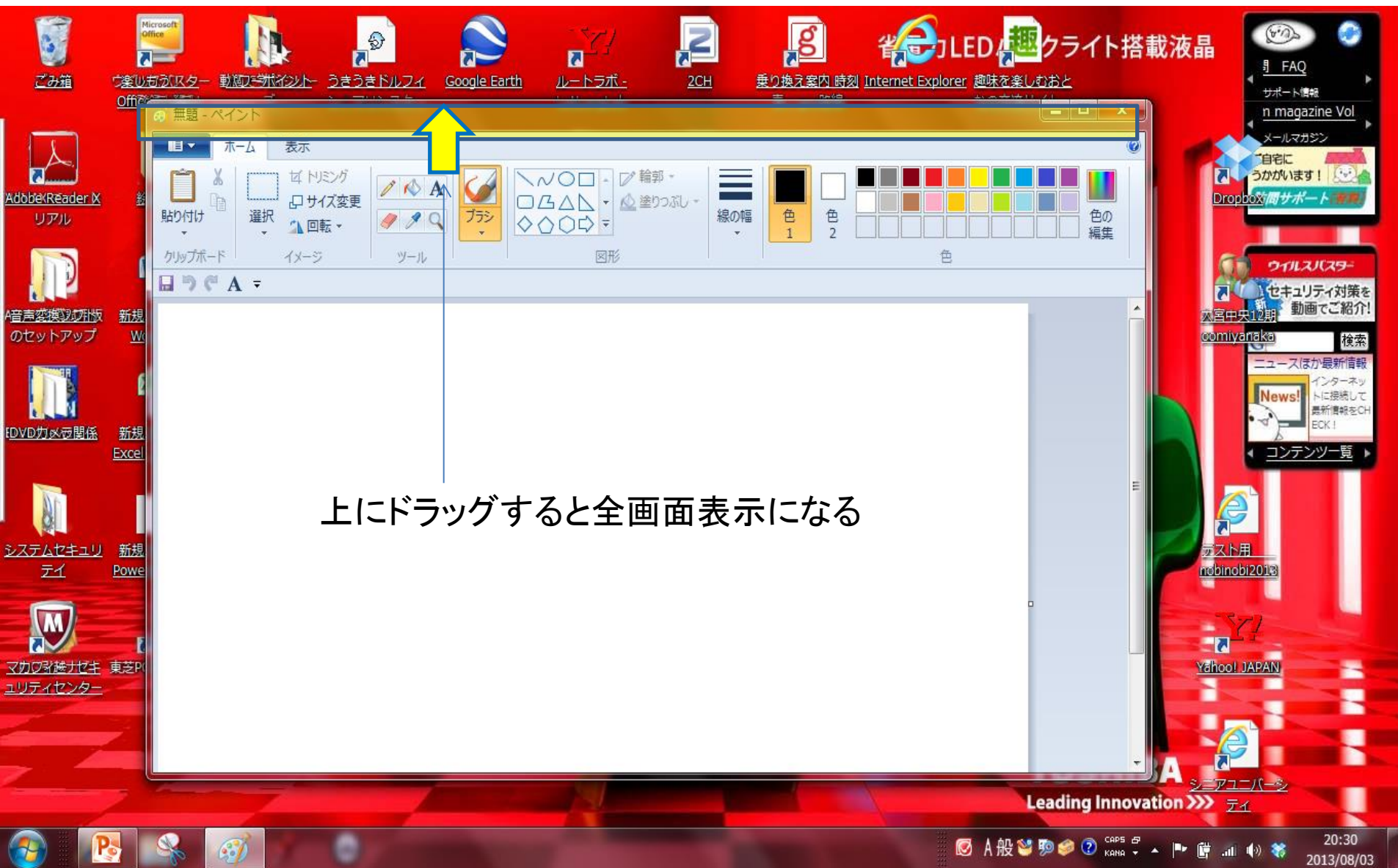
マウスを右方向にドラッグします。



手を離れた時点でウィンドウのサイズが確定する

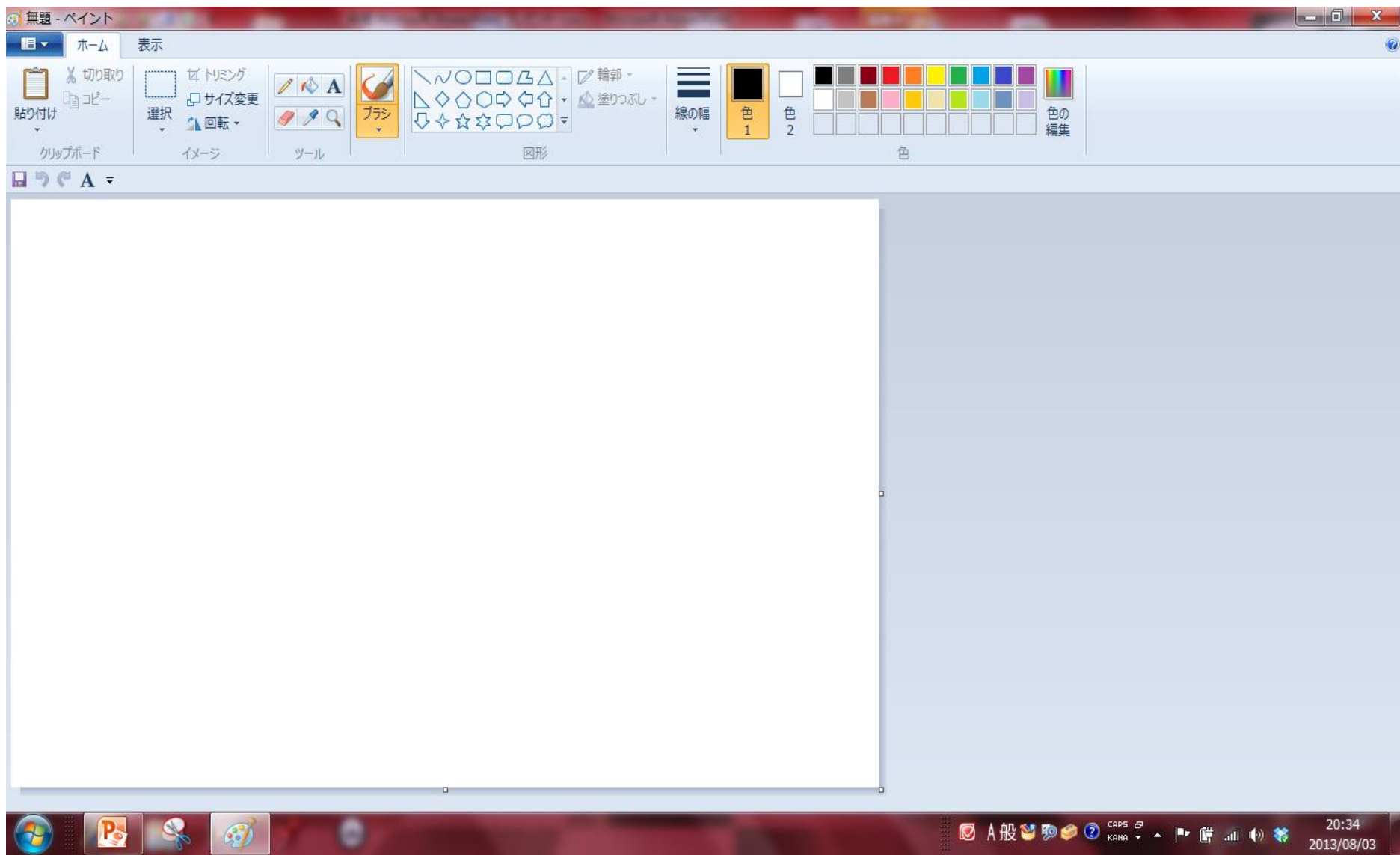


タイトルバーを使ったウィンドウのサイズ変更

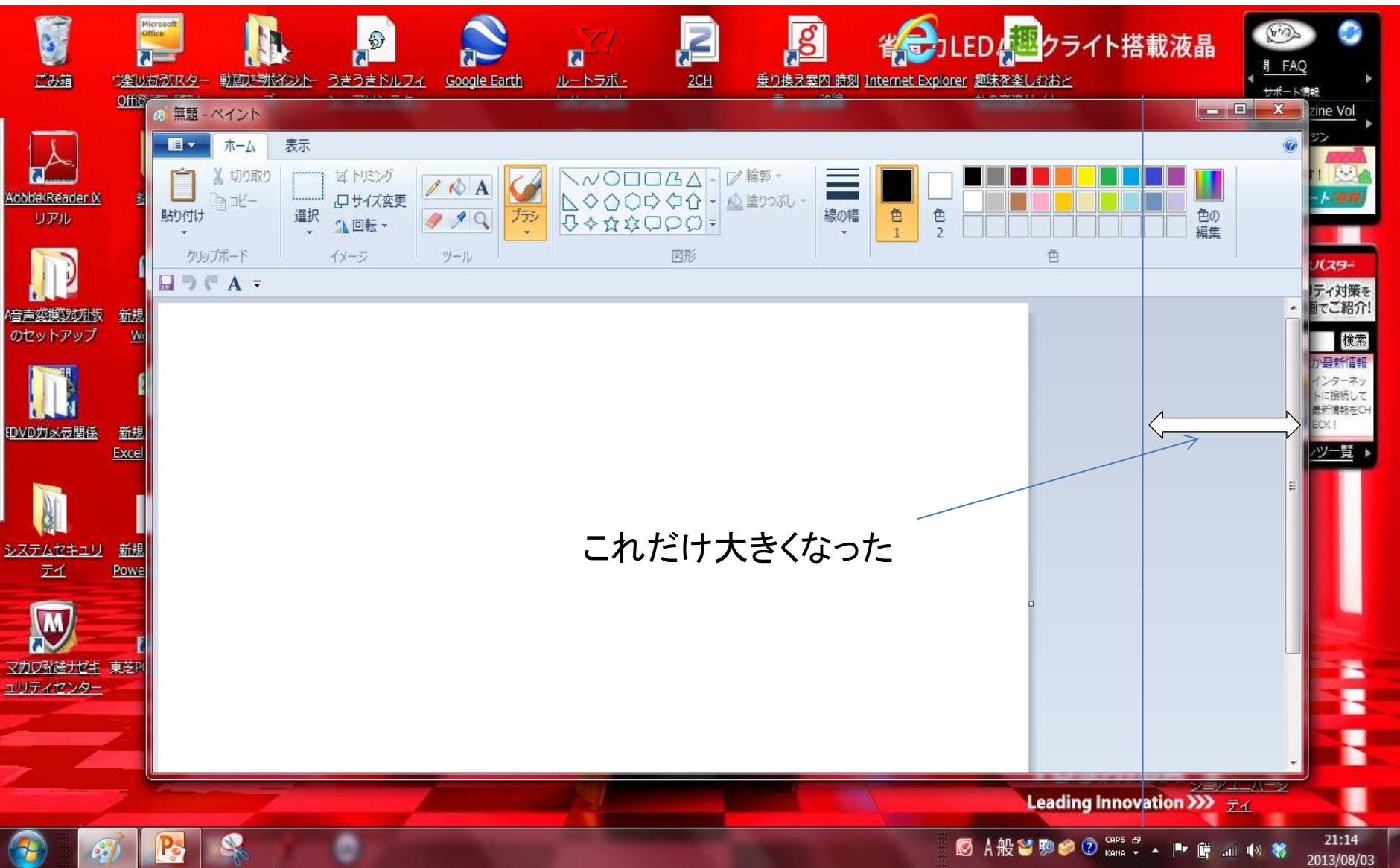


上にドラッグすると全画面表示になる

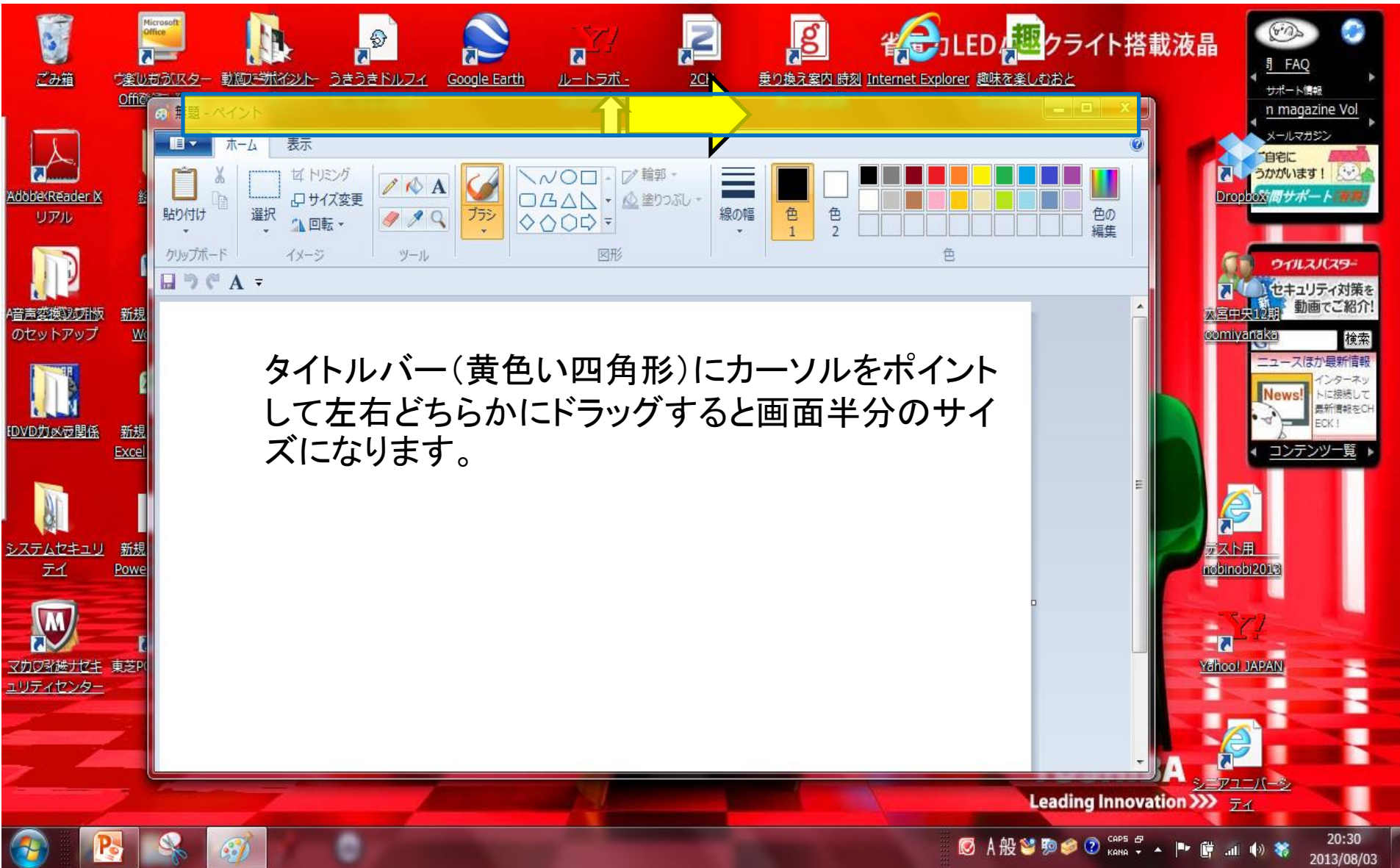
ウィンドウが画面全体になりました。



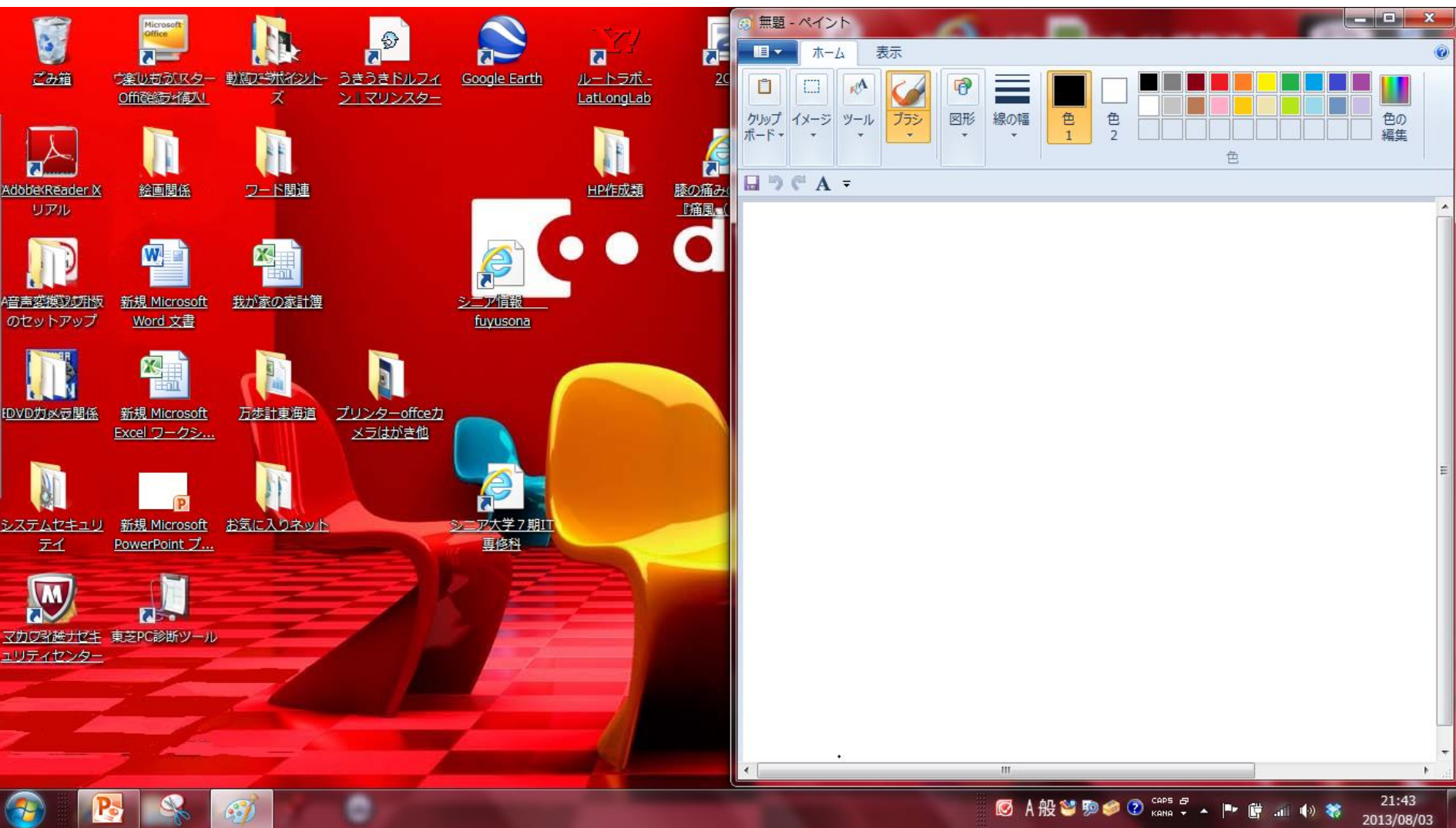
手を離れた時点でウィンドウのサイズが確定する



マウスを右方向にドラッグします。

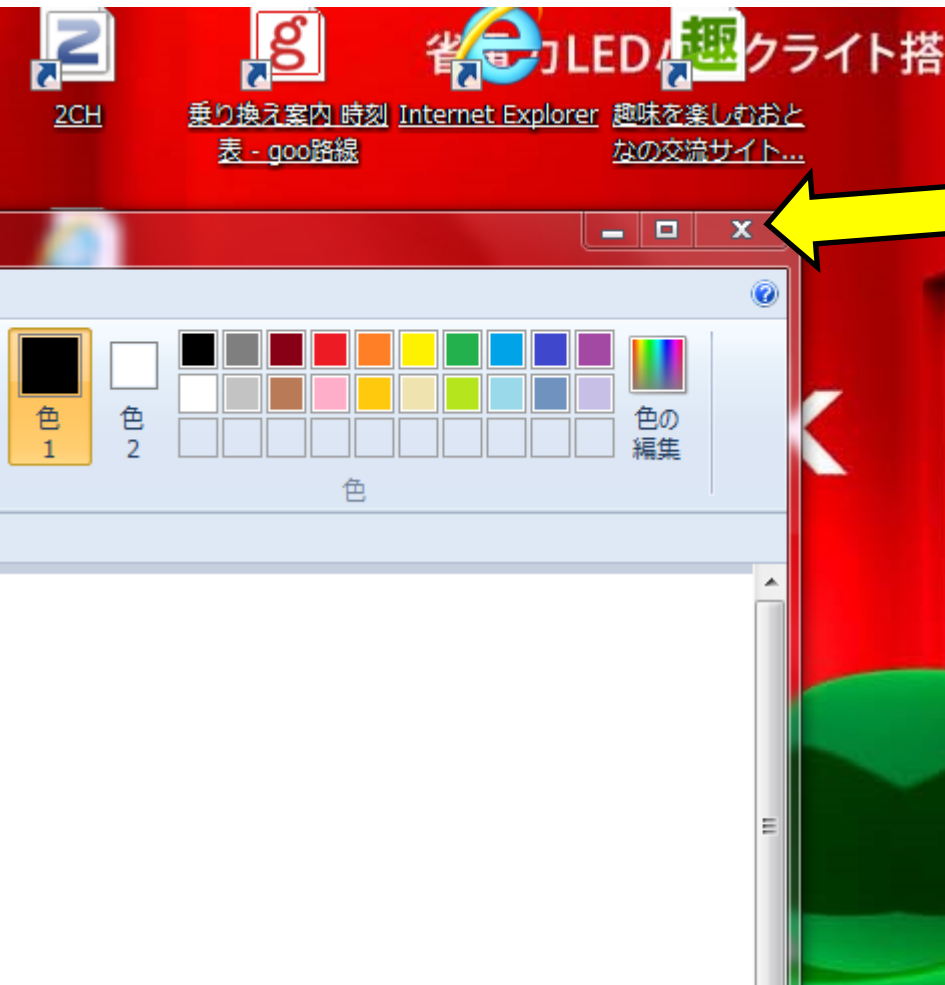


半分の画面になりました。



アプリケーションを終了する

アプリケーションソフト(ペイント)を終了しよう



×(閉じる)をクリックします

ウィンドウが閉じられ、ペイントが終了します。



ー最小化と×閉じるの違い

- 最小化は一時的にウィンドウを非表示にし、タスクバーに表示されますが、アプリケーションソフトは起動しています。
- それに対して×（閉じる）をクリックすると、ウィンドウが閉じられるだけでなくアプリケーションソフトも終了します。作業しないアプリケーションソフトは×（閉じる）で終了します。